

日本のエネルギー戦略のあるべき姿

山地憲治

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)理事・研究所長

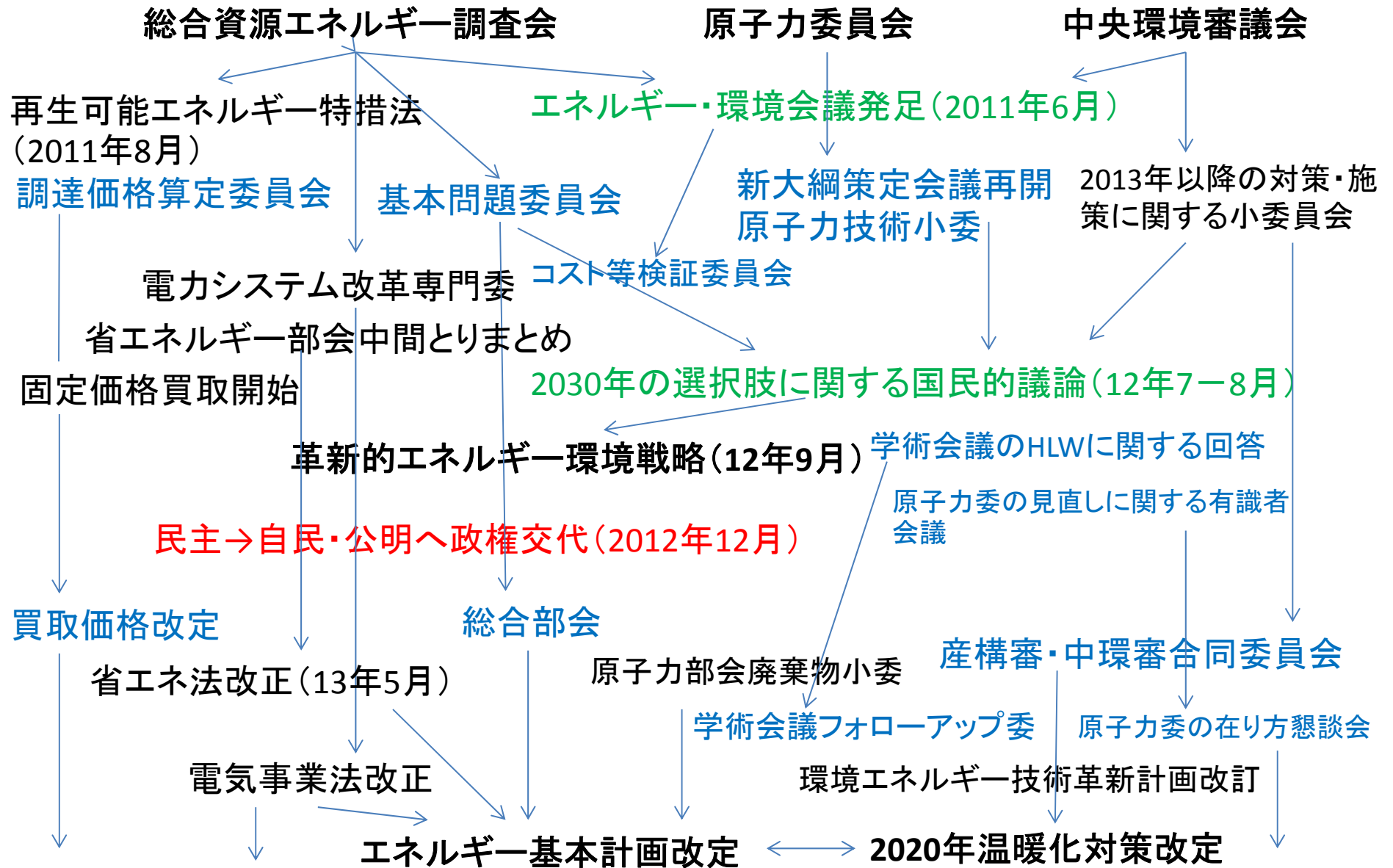
第5回東大エネルギー・環境シンポジウム

「岐路に立つ日本のエネルギー戦略」

@東京大学伊藤国際学術研究センター

2013年10月30日

3.11以降のエネルギー・環境政策の動向



日本のエネルギーのこれからを考えるためのキーワード

3E+S: バランス感覚の回復、リアイティの回復、・・・

リスクの選択: 絶対安全からの脱却、コミュニケーション・・・

信頼の回復: 原子力安全規制、電力会社、政府、専門家、・・・

需要側資源の活用: ITとの統合、スマートコミュニティ形成、・・・

国際的視点の確保: 一国主義からの脱却、国際連携・展開、・・・

地球温暖化問題: グローバルな取組み、行動目標、・・・

組織・人材: 原子力委再編、規制と推進、グローバル人材、・・・

エネルギーと地球温暖化対策を一体とした政策の構築

- ・**原子力という選択肢の維持**: 安全対策による**信頼回復**、既存原子炉の運転、低線量被曝・過酷事故に関するリスクコミュニケーション・・・
- ・**活動量調整を含む徹底した省エネ**: 効率向上に加えて、情報通信を活用して消費者**行動変化**を誘導(スマートコミュニティの活用)・・・
- ・**再生可能エネルギーの最大限の導入**: 全量固定価格買取制度の活用(被災地への支援にも)、地熱や水力など安定的再エネの推進(環境アセス等の迅速化)、電力系統安定化対策(**需要の能動化**も活用)・・・
- ・**化石燃料の活用**: 特に**天然ガス**(供給安定性?)、**クリーンコール技術**(A-USC、IGCC、**CCS**)、2国間クレジット獲得、褐炭+CCSによる**クリーン水素**・・・
- ・**エネルギーシステムの強靱性増強**: 全国連系での電力・エネルギーシステムの強化、次世代エネルギー・社会システム構築の加速(被災地復興の機会も活用、**分散型エネルギーの防災利用**)・・・
- ・**共通の課題として**: **需要側資源の能動化**(スマートコミュニティ形成)